



南葵音楽文庫を知る ー基本の基本ー 4. 「書票」とは

美山良夫

2019年5月5日(日) 11:00 南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

南葵音楽文庫

和歌山県立図書館内

和歌山市西高松 1-7-38

tel. 073-436-9500



出版社の社標 emblem ミレー

▶高村光太郎 ▶岩波書店 1913

筑摩書房(青山二郎) 1940

晶文社(サイ) 1960

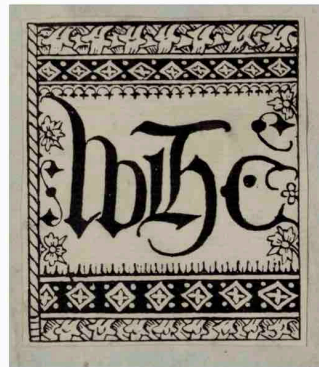
*注意: 商標登録されている画像です

書物と票

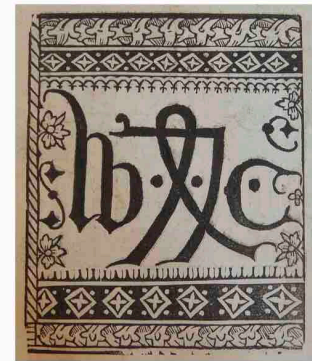
- 1) 著者 編者
- 2) 出版者
- 3) 印刷者
- 4) 製本者
- 5) 所蔵者
- 6) 書肆、古書肆
- 7) 図書館

手沢本: 書き込みや注記を、書物の「汚れ」や「穢れ」としてではなく、その書物の「個性」として見直すようになった。

書票 書物には刷り込まれたり貼られたりする票がある。これらもそれぞれ書物への思いや流通などから生じたものである。南葵音楽文庫は、その思いや歴史をかたる素材の宝庫でもある。 ↓徳川頼貞蔵書票



W.H.カミングス(1831~1915)
の蔵書票 **Exlibris Bookplate**
使用開始 不明



W.キャクストン (?~1492)
印刷者標 **Printer's device**

1487年『ソールズベリー典礼』
ウィリアム・キャクストン イングランドの商人、大陸から印刷機を導入、1476年、ウェストミンスターで出版、販売をはじめた。それにさきだち、1473年、ブリュッヘで英語の本を出版した。参照:

ヘリンガ(徳永聡子訳)、初期イングランド印刷史 (県立図書館蔵)

16世紀における印刷者標のひろがり **Editio16** によれば 1000余

南葵音楽図書館の装幀匠 庄司浅水

1929年に刊行された『南葵音楽事業部摘要第一』の巻末には、館長徳川頼貞以下南葵音楽図書館の職員7名の名簿が掲載されている。そのなかに装幀匠¹、すなわち典籍等の装幀や美装を担当する専門家の名が掲げられている。装幀匠の任にあったのは庄司浅水(本名は善造、1903~1991年)であった。後に主に西洋古典籍、書誌学、造本・装幀に関する歴大な著作を残すことになる庄司は、学業を終えるとまもなく南葵音楽図書館に勤務している。

